

ふれあい大阪

〈発行所〉 大阪退職者連合 大阪市中央区大手前 2-1-7
大阪赤十字会館 5 階／連合大阪内 (〒 540-0008)

No.53 2018年
12月 15日

発行責任者 德永秀昭
編集責任者 坂本真一

TEL 06-6949-1105
FAX 06-6944-0055

一大阪退連 2019 年度定期総会

生き生きと安心して暮らせる社会にしよう！

2018年11月27日・エルおおさか



主張

当事者が参画した尊厳ある高齢者施策を！ —あらゆる場への女性参画めざして！—



植本真砂子 副会長 5原則（自立・参加・ケア・自己実現・尊厳）に基づく政策の実施を各国に求めている（10月1日は国際高齢者デー）。デンマークでは、高齢住民委員会（法律に基づき全自治体に設置）で高齢当事者が地域の高齢者政策に参画している。また、「私たちのことを私たち抜きで決めないで」（2002年）と発信したスコットランド「認知症ワーキンググループ」の当事者の活動が全世界に影響を与えた。

日本では、2000年施行の介護

保険法で「嫁・妻・娘」が担ってきた介護を一定「社会化」したが、度重なる「法改正」で地域やボランティアに担わせる動きに変容している。「尊厳を保持し」生を全うするため、この動きに我々高齢当事者は、参画していただろうか？

12年前に審議された「後期高齢者医療制度」の審議の場には、75歳以上の当事者は、参画していないなかった。

当事者抜きで、「財政事情」のみを理由に政策の切り下げが起こることに憤りを覚える。あらゆる場に当事者参画の仕組みを求めていく必要がある。そのためにも、大阪退連が行う毎年の自治体要請は重要である。また、各々が、自分の住む自治体の高齢者政策をき

ちんと知り、パブリックコメントなどあらゆる機会に当事者として参画すること、関連審議会に市民当事者の参画の仕組みを作るよう求めることだ。そのことを実現していくためにも、各種選挙への参画をしっかりと行おう。

一方、ジェンダーギャップ指数最下位に近い日本で、やっと「政治分野における男女共同参画に関する法律」（2018年5月公布）が、努力法であるができた。2019年の統一自治体選挙や参議院選挙で新しい一步が踏み出されるよう応援したい。もちろん、引き続き、男女同一価値労働同一賃金、男女平等法を求め、あらゆる場への女性参画を求めていくことも当事者運動として行っていきたい。

大阪退職者連合副会長 植本真砂子

大阪退連 2019 年度定期総会

組織強化し、社会保障制度の充実に取り組もう！ 一参議院選挙、統一地方選挙に勝利！



大阪退連 林会長の挨拶

大阪退連は、2018年11月27日、エルおおさか南館5階ホールで178人の代議員・役員が出席して2019年度定期総会を開催した。総会は、2部構成で実施し、第Ⅰ部は、「大阪『都構想』をめぐる状況」をテーマに、フリージャーナリストの幸田泉さんが講演した。幸田さんは、最近の法定協議会（大阪市の廃止・分割を協議している大阪市会議員、大阪府議会議員、府知事・大阪市長で構成する協議会）をつぶさに調査し、大阪維新の会が進める「大阪都構想」が、極めて問題の多い矛盾に満ちたものであることを述べた。



幸田泉さんの講演

第Ⅱ部は総会。主催者を代表して大阪退連・林会長は「社会保障制度の充実」「参議院選挙における立憲民主党、国民民主党候補者勝利に向けた取り組み」「組織拡大」の取り組みを述べ、特に「連合大阪地域OB会組織との連携」「女性会員・役員の拡大」を強調した。また今年の総会に、初めて連合大阪地域協議会から各事務局長の出席があり（一部メッセージ）、林会長は連携して新たな地域・地区運動づくりを訴えた。

来賓として出席した日本退連の人見会長からは「十分な議論を尽くさない閉塞感を感じる国会運営」を変えるため「参議院選挙で連合推薦の立憲民主党・国民民主党の10人の候補者」の必勝を訴えた。

連合大阪の田中事務局長は、「政策課題の推進」「男女共同参画」「2019年政治闘争」「自然災害に対する



日本退連 人見会長



連合大阪 田中事務局長



取り組み」をこの1年の重要取り組みとし、「連合大阪30周年」記念事業を機に議長の高山さん（銀女教）島村さん（自治退）「ギヤをアップして現退一致で取り組む」ことの決意を述べた。

「大阪市廃止・分割」に反対

徳永事務局長から新年度方針として「社会保障制度充実の取り組み」「治体へ向けた介護制度の充実要請活動の強化」「安倍政権の打倒に向けた参議院選挙・統一地方選挙の取り組み強化」「大阪市廃止・分割に反対する取り組み」「組織強化の取り組み」などの提起があり、満場一致で承認された。また中井副会長から「2019年度役員体制」の提案があり、承認の後に、今年度を機に退任される大寺前副会長の退任メッセージの紹介、福田前幹事の退任挨拶があった。また新役員として横川副会長、島村幹事、橋本幹事の紹介が行われた。

全ての議案の承認の後、富森副会長からの総会宣言提案を全体で採択し、林会長の「団結ガンバロー」で締めくくった。



出席代議員の皆さん

だれもが安心できる介護保険制度を求めて 大阪府と43市町村へ要請書を提出

大阪退職者連合は、2018年11月「2019年度介護保険制度・高齢者保健福祉制度等に係る要請」を、大阪府及び府域43市町村に対して行い12月末までの回答を求めた。

今年の要請は、「地域包括ケアシステムの早期確立」「介護人材の確保及び労働条件の改善」「認知症対策の充実」などを重点にした。また厚生労働省が、「介護の重度化防止・予防対策」に重点を置き、そのための「インセンティブ予算」を計上している中で、要介護者に対するサービスがおろそかにならないよう、迅速で適切なサービスを求めた。さらに自然災害が多発する中で、災害に対する高齢者への日常的な支援なども新た

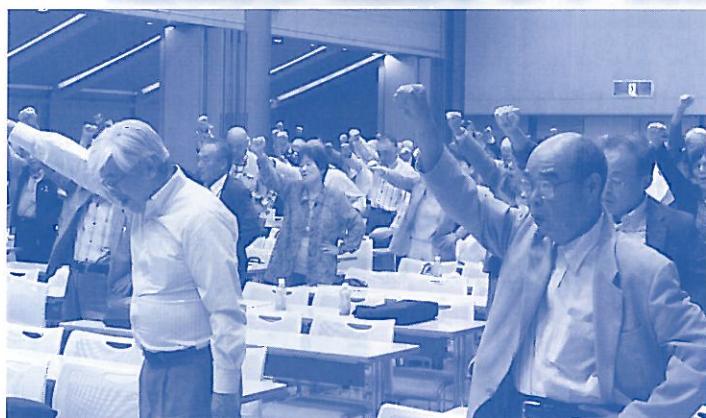


堺市との意見交換 2018年1月
に加えた。

回答を元に、1月から2月にかけて大阪市、堺市など11市で担当部署と意見交換も実施予定。

第25回(2019年度)近畿ブロック総会

近畿が連携し、政治の流れを変えよう



団結ガンバロー

2018年10月16日、エルおおさか南館5階ホールに、近畿6府県退職者連合から代議員と役員134人が出席し、近畿ブロック定期総会が開催された。

総会のI部は国府弁護士の講演。近年問題になって

いる「相続に関わる法的諸問題・課題等」をテーマに、具体的な事例をまじえ詳細な説明と対応策の講演があった。II部の総会では主催者を代表し林代表幹事(大阪退連会長)が、社



会保障制度の充実に向けて「近畿が連携し、相乗効果を發揮し活動を強めよう」と訴えた。来賓として参加した山崎連合近畿ブロック代表幹事は、大阪維新の会吉村大阪市長の「学力問題に対する対応姿勢」を批判するとともに、「生きていて良かったと言える時代、社会をつくるため取り組みを強める」ことを訴えた。また日本退連の菅井事務局長は、「非正規労働者を増やす政府の雇用政策が少子高齢社会を招いている」と自民党安倍政権を批判した。

続いて徳永事務局長から「参議院選挙」「災害に強い街づくりとネットワーク」などの2019年度活動方針の提案があり、承認された。また今年度から新たに「女性幹事枠」が設けられ、大阪退連と兵庫退連から2名の女性幹事が就任した。



I部で講演する国府弁護士



徳永事務局長
の方針提案

2018近畿ブロックハイキング



奈良の国宝をめぐるハイキング

好天にめぐまれ奈良公園に1306人が集まる



若草山を背に出発式



各府県最高齢参加者に記念品

2018年10月16日退職者連合近畿ブロック協議会は、「近畿ブロック2018秋のハイキング」を開催した。今年度は、奈良退職者連合が担当し「あそによし 奈良の国宝をめぐるハイキング」のサブタイトルのもとに奈良公園で開催し、好天にも恵まれ近畿ブロック6府県退職者連合から1306人が参加した。

出発式は、奈良公園春日野園地で開催した。奈良退職者連合土記会長から歓迎の挨拶、近畿ブロック林代表幹事会からは「近畿は一つ」「元気に頑張ろう」の



林代表幹事の主催者あいさつ

呼びかけが行われた。来賓として連合奈良の西田会長、奈良県、奈良市、近畿労金、全労済代表からも歓迎の挨拶があつ

今年の最高齢者は95歳、大阪参加者は91歳

出発式では、今年も各府県退職者連合最高齢者6人が壇上で紹介された。今年の最高齢者は兵庫退連から参加した野崎勇造さん95歳、大阪の参加者の最高齢者は佐藤登さん91歳。壇上で紹介されたときは一斉に歓声が沸き起こった。来年も元気に参加ができるよう祈念し、それぞれに長寿記念品が渡された。

出発式終了後は、東大寺、301年ぶりに再建された興福寺中金堂や若草山などに出発。芝生で弁当を広げる人、ビールを片手に語り合う人など各所で親睦交流が行われた。

来年度のハイキングは
兵庫で実施する。



奈良公園春日野園地で親睦

地震、台風など自然災害に備えよう

6月18日に震度6弱の大坂北部地震が発生し、大阪では4人が亡くなり、建物被害は2万5千棟に及ぶ大きな被害がでた。7月には水害が発生し岡山、広島、愛媛で甚大な被害が出た。9月4日には台風21号が近畿地方を縦断し、猛烈な風により大阪では8人が亡くなり建物被害は4万3千棟に及んだ。

自然災害による被害は、高齢者が多くをしめており、災害に備えて日ごろから準備をしておくことが、大切だ。災害は、過ぎ去ってしまえば記憶から

遠ざかる。災害は忘れたくろにやってくる。「大阪万博の開催決定」に浮かれてはおられない。定期的に避難方法、緊急連絡、情報の入手方法、緊急の蓄え、常備薬、家屋の点検など注意しておくことが大切だ。

地震被害を受けた屋根
補修補助のボランティア